

重点目標「確かな学力」①自分の考えを伝える ②達成感を味わう ③基礎基本の定着

**現状**基礎基本の定着率の低さ・読解力の低さ・発表への抵抗感・内容を捉えて聞くことが難しい

## 「主体的な対話を生む授業づくり」(研究主題)

授業づくりにおけるとりくみ(説明文を中心に)

- ①話し合いの視点を意識した題材設定
- ②単元逆向き設計
- ③単元マップ
- ④系統表

## 基礎基本の定着におけるとりくみ

- ・朝学(暗唱・漢字・作文、主張文)
- ・ノート指導 めあて・ふりかえりやまとめ
- ・板書、1時間の見通し
- ・けいさん応援隊(異学年)
- ・読書の推進

## 教科の結果より (※数値は本校の正答率/全国の正答率の割合)

**国語** 資料や文章などから情報を整理したり、文脈を読み取ったりすることに課題がある。文脈に応じた漢字を使うことに課題がある。

- ・集めた材料を分類したり関連付けたりして伝え合う内容を検討すること(38.2/53.3)
- ・情報と情報、語句と語句の関係づけの仕方や関係の表し方を理解し使うこと(50.9/63.1)
- ・書く内容を明確にし、文章の構成を考えること(52.7/65.5)
- ・漢字を文の中で正しく使うこと(67.3/81.6 無解答16.4%)

**算数** 情報を整理したり、読み取ったりすることに課題がある。記述式の問題を解くことに課題がある。

- ・簡単な表から条件に合った項目を選ぶこと(50.9/71.6)
- ・分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述すること(16.4/37.0)
- ・問題を解決するために必要な数量を見だし、式や言葉を用いて記述すること(20.0/48.7)

**理科** 知識の定着や設問を読み取ることに課題がある。

- ・乾電池の直列つなぎに関する知識が身についているか(32.7/55.1)
- ・温度によって水の状態が変化するという知識を基に水の蒸発について理解すること(43.6/64.2)
- ・発芽するための条件について差異や共通点を基に表現すること(45.5/62.0)

## 児童質問より

※数値は肯定的回答率

本校の回答率/全国の回答率

PC・タブレット学習などの ICT 機器を活用することで、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる。

84.5/77.6

目的に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。

74.2/81.8

- ・朝学習を利用し、漢字の定着をはかったり、暗唱活動を通して言葉の面白さなどに触れたりする。
- ・授業の中で対話の時間を設けることで、考えを整理するとともに、自分の考えを伝えたり広げたりすることのよさを実感できるようにする。
- ・他教科にわたってデータや資料を読み取ったり、説明文では全校の型を整えて文章の構成を学んだりして要約する力や要旨をつかむ力を養い、読解力向上に繋げる。
- ・タブレットを授業の中で効果的に使用することで、学習意欲の向上を図るとともに、意見交流の活性化などにも繋げる。

これまでのとりくみ(P・D)

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

これからとりくみ(A)